

## 平成 30 年度 細胞検査士会定時総会議事録

日時：平成 30 年 6 月 3 日（日） 13:00～13:30

会場：第二会場 3F さっぽろ芸文館 清流の間

参加人数：65 名

議長選出：総会に関する運用細則 第 5 条により、平田総務委員長が議長に選任

議事録作成：庶務委員会（仲村委員長）

議事録署名人：服部 学，野崎 正行

### 1. 会長挨拶

本日はお忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。

まずは、昨年の福岡の学会において、50 周年記念式典・表彰・祝賀会、細胞診と細胞検査士展、市民公開講座が無事、盛会裏に終了いたしました。多くの細胞検査士、特に九州地区の皆様方、細胞検査士会関係各位の皆様方には多大なるご協力をいただきました。改めてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。最後にもう一つ、形として残る記念誌作製が現在進行中であり、これが完成しすべての記念行事が終了ということになります。現在、記念誌の申し込みを受付中ですが、DVD は皆様方に無料で配布させていただきます。ハードカバーの記念誌も 50 年という区切りの記念に、お買い求めいただければと思います。

次に、今年は 2 年に一度の役員選挙の年になります。都道府県細胞検査士会の皆様方には、ご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。また、日本臨床細胞学会の方も評議員選出、理事選挙の年となります。現在、評議員が選出され、この後、その評議員から理事選挙が行われます。現在、38 名の理事のうち、細胞検査士の理事は 3 名ですが、是非、今回も細胞検査士から 3 名以上の理事を出したいと思っておりますので、評議員の方はご協力をよろしくお願いいたします。

また、それに関係してはありますが、細胞検査士の地位向上のためには、まずは日本臨床細胞学会の中での地位向上が必要であり、そのためには正会員を増やすことが必要です。これまで、役員や委員も意識改革が必要であるため、正会員を義務付け、また、皆様方にも正会員となるようお願いして参りましたが、現在も 1000 数十名でなかなか増加しないのが現状です。原因としては、正会員のメリットがないとの声が多く、やはり何らかの正会員としてのメリットが必要であろうということで役員会において検討され、日本臨床細胞学会学術集会、細胞検査士教育セミナー、細胞検査士ワークショップ、などの日本臨床細胞学会主催が主催する行事の座長、演者、実行委員などは正会員優先ということになりました。どうぞ皆様方には、ぜひ正会員になっていただきますようお願い申し上げます。

最後に、4 月 21 日に行われました日本臨床細胞学会理事会において、2020 年の日本臨床細胞学会秋期大会の会長に、私が選出されました。皆様、50 年かかりましたが、細胞検査士が、日本臨床細胞学会の学術集会長を務めます。もちろん、初めてのことであり、必ず成功させなければなりません。皆様方の絶大なるご支援をお願いいたします。なんととっても参加人数が多いことが、一番重要ですので、どうぞ、2020 年には日本中の細胞検査士が集まるぐらいの勢いでご参加いただきますようお願いする次第です。場所は、パシフィコ横浜ノースを予定しております。ノースは展示場を挟んで現在のパシフィコ横浜の会議場の反対側に建設中で 2020 年の 4 月に開業予定で、現在のパシフィコ横浜の会議場と同規模あるいは若干大きい会議施設ですが、そこで開催する予定です。

## 2. 報告事項

- 1) 物故会員（仲村庶務委員長） 出席者全員で黙祷を捧げた。  
小松原 彰 様（CT 2542）
  - 2) 細胞検査士会創立 50 周年記念事業会報告（三宅 50 周年事業会委員長）  
昨秋の福岡の学会で無事・盛大に行われた。  
記念誌の購入を募集中、7 月に発刊予定。
  - 3) 規則類の変更（原田規約委員長） 変更点について説明された。
    - ①「附則年号表を西暦（年号）の併記とする」
    - ②「委員会運営に関する細則第 2 条（業務）」
  - 4) 2019～2020 年度細胞検査士会役員選挙の実施について（原田規約委員長）  
執行部案が役員会で承認された。
  - 5) 役員会確認・検討事項
    - ①都道府県代表者メーリングリスト構成員に委員長を加える  
（山城都道府県代表者委員長）
    - ②日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策について  
（遠藤ありか委員長）  
細胞検査士教育セミナー、細胞検査士ワークショップの講師、座長、運営委員  
日本臨床細胞学会総会・秋期大会のプログラム委員、座長、講師  
細胞検査士養成所/養成課程における講師  
以上講師等に正会員を優先することを実行委員長に要望する
  - 6) Love49 事業の今後の対応（伊藤会長）
    - ①子宮頸がんを考える市民の会がニュースレターを作成することが財政的に困難
    - ②日本臨床細胞学会は既に 5 万円各都道府県に支給し、これ以上は困難
    - ③役員会と各都道府県で検討し、継続するか方向性を決めたい
- ## 3. 議案審議結果
- 1) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告および収支決算 承認  
議案説明は阿部経理委員長。
  - 2) 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画およびこれに伴う予算 承認  
議案説明は阿部経理委員長。